

パブリックコメント実施結果（提出意見及び市の考え方）

1 公表期間 2月2日から3月3日まで

2 計画（案）に対する意見の提出結果 2件（7項目）

3 提出された意見及び市の考え（なお、提出意見については、要約して記載しています）

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え	反映
	章	項目	ページ				
1	1 木津川市を取り巻く状況	1.1.1 第1次木津川市総合計画 後期基本計画	1頁	意見	満足度の目標値が低い。H30年度末の目標値は50%以上とするべき。（満足度の目標が半数以下（39.7%）には反対）	平成25年度に実施した「木津川市総合計画後期基本計画」の策定に伴うアンケート調査結果を踏まえ、毎年1%上昇させることを目指し、平成30年度末で39.7%としました。 この目標に満足せず、より高い数値となるよう、利用促進等の事業を実施することとしています。	—
2	1 木津川市を取り巻く状況	1.1.3 木津川市地域公共交通総合連携計画	5頁	意見	平成30年：40万人の目標値は、平成25年から年間1万人の増加に過ぎず、目標として適切ではない。7万3000千人程度の人口はさらに増加が予想される。木津川市民が平均年間10回程度利用する（73万人@平成30年）ぐらいが適当な目標値と考える。	木津川市地域公共交通総合連携計画では、平成21年度で利用者数が39万人であったことから平成30年度において、40万人としたところです。 平成25年度で利用者数が27万人に減少したことにより、見直しを行い、本計画では、平成31年度で30万人の利用者数を目標としているところです。 この目標に満足せず、より多くの方に利用いただけるよう利用促進等の事業を実施することとします。	—
3	3 木津川市地域公共交通網形成計画	3.2 計画の範囲	29頁	提案	「計画の範囲」を「計画の区域」とするなど、地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する法律の条項に沿って記載した方が良いと思われます。	「計画の範囲」を「計画の区域」に変更します。	反映
4	2 木津川市における地域公共交通の課題	2 木津川市における地域公共交通の課題	27頁 ～ 28頁	提案	地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針二 1（3）にあるとおり、公共交通サービスの提供レベルを交通モード毎に整理すると良いと思います。	次のとおり修正します。 「市内地域公共交通全体の維持を図るためには、それぞれの役割分担を認識し、集落と鉄道駅や公共施設を結ぶ役割であるバスの運行を活性化する必要がある。このことを踏まえ、アンケート調査結果やワークショップから伺った内容等をもとに次のとおり設定した。」	反映

No.	中間案での該当場所			種別	提出意見	市の考え	反映
	章	項目	ページ				
5	3 木津川市地域 公共交通網形 成計画	3.1 計画の基本方針	29頁	提案	掲げられた2つの基本方針について、まちづくりと交通の関係について具体的に記載すると良いと思います。	次のとおり追記します。 「市では、将来の都市構造として、都市機能の中心的役割を果たす地域を「拠点」と位置づけ、各拠点を連携する鉄道・バスの公共交通機関などを「拠点・市街地交流軸」とし、木津川市の一体性を高めるとともに、だれもが住みやすいまちづくりを目指しています。」	反映
6	3 木津川市地域 公共交通網形 成計画	3.4 計画の目標値	30頁	質問	29項で「より多くの人に公共交通を利用してもらうことを目指す」と記載されているなか、年間利用者数に関する目標設定が、コミュニティバスに絞った点は何かあるのでしょうか。	各集落と鉄道駅を結ぶ役割であるバスを利用いただくことで鉄道等の利用を促すことにも繋がるため、市が運行するコミュニティバスを目標設定したものです。	—
7	4 施策の体系一 目標を達成す るために実施 する事業及び 取組体制	4.3 実施する事業	32頁 ～ 34頁	意見	実施する各事業について、現状を踏まえ、それぞれの定量的な目標は考えられているのでしょうか。	公共交通だよりの発行部数や時刻表の作成などの目標を設定し記載します。	反映
8	7 計画の実現に 向けて	7.2 事業計画及び実施主 体	47頁	意見	最終年度まで「検討」となっているものがありますが、例えば、結論を何年度までに出すのか明記した方がいいと思います。	事業を「検討」としているスケジュールについては、具体的に明記します。	反映